

新入園児を迎へる心

東京市京橋區月島幼稚園

蒔 田 ソ コ

新入園児を迎へる心。ほんまに四月になつたら全部を迎へる心になり切れるでありませうが、すっかり馴れ親んだ

子供たちのこの一年間を二年間を、影の日向のやうに離れない子供たちの、目を縫ぢても浮び出るあの顔この顔の中にあつて果して四月になつたら、そんな心になれるでありませうか、若しなれたらそれは嘘の心のやうにも思はれてならない。母親が産れ出た子供の産聲を聞いた瞬間に湧然と起る母性愛のそれと同じ様にその顔を見、動作に接しない中はなかく、に迎へる心は出にくいやうであります。

何時であつたか倉橋先生の迎へる心さいふ小文を拜見した記憶があります。幼時を迎へる心、一切を封じてひたすらに迎へる心、四月の先生の心である。さいふのであつたやうに覺えて居りますが、ほんまに迎へる心は四月の心であるやうです。然し机の上には新しい入園申込書が部厚く重なつてゐる。事實はやはり新入園児を迎えるその準備に

急がなければならぬ。三月は一番私たちを感傷させる月でこそあるらしい。

生活の向上と共に家庭の幼児に對する教育の理解も年毎に深まつて、入園希望の數も設備の全部を使用してもなほ足りないほご誠に喜ぶ可き社會の狀勢であると思ひます。

三月半ごろ園醫の先生を煩はして新入園児の身體検査を致します。健康診斷程度のものでありまして之によつて輕症の疾患は入園までに治療するやう注意し、其他傳染性の疾病及び特に心身に異狀のない限り入園を許可致します。

さて入園差支へない方たちには、入園の葉を家庭狀況調査の用紙を渡し入園當日までに記入して持參するやうお願い致します。準備すべき品々の見本も並べて御覽に入れます。

入園の葉は毎月の幼稚園だよりを特に四月は新入園の方たちを目あてに入園の葉を洒落たつもりなのであります。巻頭には園長先生が幼稚園を何をする所か、さいふやうな事をお母様方のために親切に細々とお書き下さいます。

次に入園當初の家庭と協力してなす可き躰、登園の注意、入園當日までに準備すべきもの、附添人心得等を記して置きます。

家庭状況調査は四年前京橋區保育會で研究の結果今まで區々であつたのを、まごめたもの、特に幼児期傳染病についての調査を細かにし、集團生活にあつてはなる可く早期發見をなし得るやう勉めたのであります。家庭でも非常に熱心に叮嚀に書き入れて下さるので始終得難い保育の參考と致して居ります。

準備すべきものはエプロン、ヌリエ帳、クレオン、お辨當入れ等であります。その中エプロン、ヌリエ帳、クレオンは園で決めたものを揃へていたゞきその他は適當に選んでいたゞきます。エプロンは創立當初制定したものが型もよく、布も後まで廻るので洋服も汚れなくて好いからさして今に使用してゐますが、物資不足のこのごろ餘り布地をゆつたり使つてあるので勿體ない様に思はれて何か之に替るものをご思ひますが、名案もなく又今更棄てるに僣びないやうにも思へて布地の間に合ふが儘に今年もこのまゝ使用して居ります。昨今問題になつてゐる國民服の制定案の中には如何に取扱はれて居りますか存じませんが、例へ小さくも團體の生活に入る者には早急に及ぼされて欲しいことだと思ひます。堅實で洗濯に便利、優美で運動に適した

ものが實現したらそんなに好いことせう。

クレオンはぜひ皆が同じものを使用致したいものです。クレオンによつては随分色の感じの違ふのがあります。皆が同じものを使用することによつて子供の觀實眼は迷はされることなく正しい反省が出来る様に思ひます出来るだけ正しく鮮明な色を選び色數も十色位が適當かと思ひます。

この他年長組にはヌリエ帳を揃へます。ヌリエ帳使用の目的の一つには幼児たちが無條件で喜ぶこと、構想表現の手引をなすこと、色感を養成すること、觀察の補足をなすこと等であるとするならば、正確である事は勿論ですがあまり輪廓を綿密に書いてあるのはいけないと思ひます。幼兒の構想をなる可く多く表現する餘白のあるもの、又色鉛筆を使用しない私の園では圖柄の細かくないものを選び心持ちで選びます。

お辨當入れは出し入れに便利なものであれば何でも好いのですが一年なり二年なり使用に堪え得る堅牢なものでありたいものです。

その他毎年上靴も揃へていたゞきました、何時も思ふことですが子供たちはあまり上靴を履くことが、好きでないのではないでせうか。スキップだ駈けつこと言つては脱ぎすてゝある上靴の底に水が溜つたやうに汗か脂かじつさりしてゐるのを見る時、そのまゝ履きなさいは

家庭状況調査

(東京市月島幼稚園)

備考	保 護 者										家 族				幼 兒					
	氏名	生年月日	本籍地	現住所	有無	有無	有無	有無	有無	有無	祖父	祖母	兄弟	姉	兄	氏名	生年月日	出生地	第一期種痘	生れて後一年間は何でお育てになりましたか
記入上の注意 1 この調査用紙はこのまゝ保存しますから楷書ではつきり墨又はインクでお書き下さい 2 この調査用紙はこのまゝ保存しますから楷書ではつきり墨又はインクでお書き下さい	職 業	電 話 番 号	電 話 番 号	電 話 番 号	電 話 番 号	電 話 番 号	電 話 番 号	電 話 番 号	電 話 番 号	電 話 番 号	電 話 番 号	電 話 番 号	電 話 番 号	電 話 番 号	電 話 番 号	電 話 番 号	電 話 番 号	電 話 番 号	電 話 番 号	電 話 番 号
	職 業	電 話 番 号	電 話 番 号	電 話 番 号	電 話 番 号	電 話 番 号	電 話 番 号	電 話 番 号	電 話 番 号	電 話 番 号	電 話 番 号	電 話 番 号	電 話 番 号	電 話 番 号	電 話 番 号	電 話 番 号	電 話 番 号	電 話 番 号	電 話 番 号	電 話 番 号
	年 月 日	年 月 日	年 月 日	年 月 日	年 月 日	年 月 日	年 月 日	年 月 日	年 月 日	年 月 日	年 月 日	年 月 日	年 月 日	年 月 日	年 月 日	年 月 日	年 月 日	年 月 日	年 月 日	年 月 日
	無	無	無	無	無	無	無	無	無	無	無	無	無	無	無	無	無	無	無	無
	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人
	尋常小學校に在りてゐる兄弟	尋常小學校に在りてゐる兄弟	尋常小學校に在りてゐる兄弟	尋常小學校に在りてゐる兄弟	尋常小學校に在りてゐる兄弟	尋常小學校に在りてゐる兄弟	尋常小學校に在りてゐる兄弟	尋常小學校に在りてゐる兄弟	尋常小學校に在りてゐる兄弟	尋常小學校に在りてゐる兄弟	尋常小學校に在りてゐる兄弟	尋常小學校に在りてゐる兄弟	尋常小學校に在りてゐる兄弟	尋常小學校に在りてゐる兄弟	尋常小學校に在りてゐる兄弟	尋常小學校に在りてゐる兄弟	尋常小學校に在りてゐる兄弟	尋常小學校に在りてゐる兄弟	尋常小學校に在りてゐる兄弟	尋常小學校に在りてゐる兄弟
	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人
	好嫌 ありません	好嫌 ありません	好嫌 ありません	好嫌 ありません	好嫌 ありません	好嫌 ありません	好嫌 ありません	好嫌 ありません	好嫌 ありません	好嫌 ありません	好嫌 ありません	好嫌 ありません	好嫌 ありません	好嫌 ありません	好嫌 ありません	好嫌 ありません	好嫌 ありません	好嫌 ありません	好嫌 ありません	好嫌 ありません
	たか	たか	たか	たか	たか	たか	たか	たか	たか	たか	たか	たか	たか	たか	たか	たか	たか	たか	たか	たか
	この學校を出まし	この學校を出まし	この學校を出まし	この學校を出まし	この學校を出まし	この學校を出まし	この學校を出まし	この學校を出まし	この學校を出まし	この學校を出まし	この學校を出まし	この學校を出まし	この學校を出まし	この學校を出まし	この學校を出まし	この學校を出まし	この學校を出まし	この學校を出まし	この學校を出まし	この學校を出まし
	母 父	母 父	母 父	母 父	母 父	母 父	母 父	母 父	母 父	母 父	母 父	母 父	母 父	母 父	母 父	母 父	母 父	母 父	母 父	母 父

言ひ得ない不衛生な氣も致します。今年は經濟上からも手に入りそうにも思はれません。

素足で歩かせて見やうかとは、毎年思ふ事ではあります。が、あの小さな弱々しい足を見る時如何にも床板の荒々しさが氣になつて、つい今まで實行出来なかつたのだが、今年こそは床板を何さか考慮して思ひ切り素足で歩かせて見たいと考へて居ります。

以上の大體が家庭で準備していただくものであります。が、費用はなる可く少くしたい、幼稚園を特別の者の行く所なごゝ考へさせたくない、誰れでも來られる所であらせたい、こんな氣持ちから大部分のものは園の備品として備へ付け、自由畫帖、クレオン、出席カード等の必要品も許されるだけは後援會の支出を仰いで用意して置きます。

さていよいよ四月一日、この日は小學校の入學式が午前中ありますので園長先生はそちらの方にお忙がしい、従つて入園式は午後になりがちです。午後のお式、新しい團體生活の首途が午前中遊び疲れた午後はあまりふさわしくない、やはり氣分も新たな午前中に行ひたい。それで四月一日は二、三年保育の方のみを集めます。新學期早々は先生も新入園の子供に氣を取られがちです。その埋合せさいふ譯でもありませんが、ゆつくりとした氣持で新しいお部屋や下駄箱を知らせ年長組になつた自覺さ新しいお友達を迎へる

喜びを味はせ、お友達に贈るお土産(簡単な手技)を作つたり等して過します。二日入園式を行います。全部の子供のお顔合せ、下駄箱や帽子かけ、自分のお部屋を、園長先生が紹介下さる擔任の先生のお顔位を覚えてくれ、ば上等です。お兄様やお姉様ぶりのお唱歌やお遊戯を少しお見せしておみやげをいたゞいておかへり。第二日目から三日四日と徐々に時間を延ばします。その間、主に二、三年保育の方たちを動員して團體的な遊び、例へば、猫三鼠、汽車、ついで、ボート漕ぎ等を、又家庭でもよく歌はれてゐるやうな童謡等によつて先づ團體の氣分の中に融和するやう勉めます。

一週間目位からお辨當を始めます。小さい子供たちの幼稚園に來る最初の目的はお辨當を食へるこゝだけと言つても好い程大部の子供は楽しみにして居ります。食事後無理に長く止めておく必要はありませんがお辨當はなる可く早くする方が好いと思ひます。

之と同時に附添はお玄關までにお願ひして先生は家庭狀況調査より性質又は性癖、躰についての希望、身體について注意する事柄等の欄の回答をメモしたものをつたより正しく子供を知るこゝにつとめ、お歸りの時三朝の一時を連絡にあてます。

入園當初の躰之れは最も重大視したい事柄であります。今日から幼稚園の子になつたのださいふ小さいながらも希

望に満ちた子供たちの張り切つたその気分をはづさずに心の上にも體の上にもほんまに好い習慣を養ひたいのであります。少々勝手の違いであつても子供たちはこの張り切つた喜びの中で案外無理でなく習慣づけられて行くものであります。

朝早く起きて夜早く寝ること

朝食後すぐに幼稚園に来ること

幼稚園に来る前にはお金を使はないこと

食事前には必ず手を洗ふこと

エプロンで手を拭かぬこと

亂暴な言葉を使はぬこと

どんな時でも自分の名前を呼ばれたらハッキリお返事を

すること

自分の玩具や使用品は自分でかたづけろこと

お家を出る時は行つて参ります、歸つたら唯今歸りました

たご挨拶をすること

ほんの一例でありますがこうした誠に些細な事柄のその

一つ一つが子供たちにはほんまに重大な生活訓練の基礎となり、正しく行ふことによつてやがてこの一年間二年間を

又それ以上の複雑な集團的、社會の訓練に對しても苦痛で

なく出来るものであると信じます。

従つて四月の保育豫定案は何時の時よりもより生活訓練

に意を注ぐ月であることは申すまでもありません。然し感受性の強い子供たちの柔かい芽生を踏み荒すことがない様に、私たちはほんまに平かな心で、素直に受入れる大きな懐きを用意して新しい子供たちと一緒に歩きたいと願つて居ります。

紀元二千六百年記念 全國幼稚園關係者大會

紀元二千六百年記念第八回全國幼稚園關係者大會の招待狀が皆様の御手元にまゐつたこと、存じます。意義深い本大會には、是非多數の皆様のお出席を切望いたします。(編輯部)

主 催 奈良縣教育會、關西聯合保育會

期 日 昭和十五年五月二十七日、二十八日

會 場 奈良縣高市郡歌傍町檀原神宮境内

申込期日 昭和十五年三月二十日限り

會 費 金貳圓也

大會事務所 大阪市南區大寶寺仲之町(大寶幼稚園内)